

あなたからのありがとうございます
ありがとうございます

広報紙なごみ

岩手県花巻市東和町安俵6区97番地

特定非営利活動法人ゆう・ゆう

発行：グループホームなごみ・なごみⅡ

電話 0198-43-1050

FAX 0198-42-1753

Email nagomi@cup.ocn.ne.jp

URL <http://www.yuyu-nagomi.com>

第159号 平成30年8月1日発行



杉山様めでたく83歳の誕生日を迎えましたがなごみではまだまだ若手。怪我を克服して益々お元気です。

なごみの暮



今年も事務長から山ほどの梅を提供してもらい

7月のお話しボランティアさんには梅漬けにする準備作業を手伝って頂きました。今年は夏ばて予防に梅酒もあれば・・・(オンザロックで)



サボテンの花が見事に咲きました。月下美人に似て花の命が短いだけにいとおしぎが増します。



職員差し入れの季節の花を早速みんなで飾って貰いました。あじさいがみずみずしくホールを埋め尽くしました。

七月三〇日三尺会様が来園し、あでやかな踊りの数々をご披露して頂きました。暑いさなかの涼しげな踊りに見とれたひとときでした。



なごみも国際的になったものです。7月6日ホリーさん親子が来園。昔東和町に滞在して英語教師を勤めていたご縁です。東和弁がペラペラなのでホッとしました。



息子さんからのプレゼント。耳に当てると補聴器の役目をする優れものです。

お盆も近づいたので御髪を整えて……



なごみIIの暮らし



「おかみさん！それじゃあこのあつしに覚えがねえと仰るんでござんすか？」みんなでもらい泣きの名場面。

なんたら
むぜえごとや...



7月25日町内のシニア大学の皆さんが来園し、入居者と一緒に懐かしい唱歌や童謡の数々を合唱しました。改めて歌詞を読み返すと日本語の素晴らしさに気がつきます。



「みんなで作ったホットケーキだよ。味はどお？」



なごみII外部評価が7月27日実施されました。他事業所の取り組みも聞くことができ参考になりました。



なごみIIも7月は梅の山。熱中症予防に最近では塩分も必要と言われていきますから昔の人は賢明だったんですね。



どっちがどっちに似てるかわからないけどそっくり！

JKA



グループホームなごみでは、公益財団JKA様に福祉車両の整備補助事業を申請しておりましたが、この度助手席リアフアップ車に対する補助金決定をいただきました。

6月28日に待望の車両が納車となり、7月7日にお披露目式を行いました。入居者様が外出する際の利便性が向上しこれからは気軽にお出かけすることが出来ます。

何ヶ月前だったか忘れてましたが、格言を紹介しているある介護者のブログに“松直棘曲”という言葉を見つけました。読み方もわからず、少し気になり覗いてみました。「まつなおく、いばらはまがれり」松はまっすぐ育ち、棘は曲がりくねって育つ。景色はまっすぐな松だけではつまらなく、曲がった棘だけでも殺風景だ。人も又同じ。世の中は様々な個性が優劣無く、ありのままの魅力を出すことでバランス良く成立している。

9名の入居者様は性格も考え方も様々。同じようにお手伝いしてもお礼の声を掛けてくれる方もいれば、一人で出来ますからと断る方もいます。強い言葉で断られると少ししょげてしまうこともあります。が、“松直棘曲”の言葉を知ってからは「他人に迷惑を掛けず、いつまでも一人で何でもやろうと思うのも当然の思いの表れであってそれも個性!」と思えるようになりました。

グループホームは9軒のお宅が並んでいるようなもの…それぞれの個性を受け入れ、大切にしていける気持ちを持ちたいと改めて感じさせられた“言葉”との出会いでした。
なごみ介護員 北館 礼子

今春、なごみホームうきたからなごみIIに異動になりました。グループホームは、小規模多機能型施設と違って一日の流れやケアの仕方が異なり戸惑う面もありますが、先輩方から「しっかりやれよ～」と指導をいただきながら日々勉強中です。入居者様からも「今日も宜しくね」と声を掛けられ元気を貰っています。あるとき「あいずはいつも笑ってごますんだよな」と言っているのを耳にし、凶星を指された思いでした。まず、入居者様のことをよく知り、少しずつ距離を縮めていけたらと思っています。まだまだ課題が多く未熟ですが、チームの一員としての働きが出来るように、また入居者様に喜んで頂けるよう努力していきたいです。
なごみII介護員 加藤 寛久

お蔭様です

お話ボランティアの皆様 梅漬け作業
東和町シニア大学様 合唱
小山田 三尺会様 舞踊

8月の行事予定

8月22日 グループホーム運営推進会議
8月29日 なごみ外部評価受検



「暑いね」「黒は余計に暑いね」

窓辺から見える風景

暑中お見舞い申しあげます。

連日30度を超える日が続き、入居者様の健康が気になる毎日です。気をつけているつもりでも脱水症状を起こす方があったりで、戸外でお茶を飲んだりすることもはばかられます。

この地域はそれでもまだ良い方で、西日本は集中豪雨に見舞われたり、猛暑日の中での復旧作業は想像を絶するものがあります。

90歳代の入居者様は、長い人生の中で戦争を体験し、更に干ばつや冷害、洪水の被害にもめげず今日に至っているわけですが、自然の力に翻弄されながらも乗り越えてきた生命力はすばらしいものだと思います。

話を聞けば、「みんなが同じ状況だったからこれが当たり前だと思って働いてきた」と言います。暑い暑いと言いながらエアコン頼みの生活が申し訳ないほどです。

いつ何が起きてもおかしくない昨今の状況は、やはり地球が壊れ始めている証拠です。マスコミは、連日最高気温の更新のみを書き立てていますが、誰か地球規模でこれを止める対策を打ち出さないのでしょうか。それが不思議で仕方ありません。異常気象は温暖化に起因していることが明白になっているのですが、だれもそれを止める手立てを打ち出さない。国もモリカケソバに終始し、お代官様は私腹を肥やす話ばかりで、地球が壊れる前にお国が成り立たなくなるのではないのでしょうか。淀んだ水は腐ってきます。せき止めている土手を崩して、腐った水を流して新しい水を流し込む必要があるような気がします。

次元は違いますが、我が法人もそろそろ新しい水を流し込んで酸素を沢山取り込み活性化させる時期だと考えております。そのために徐々に新たな体制固めを具体化しようと考えています。

眠られぬ夜にそんなことを考えるこの頃です。

統括 佐藤 俊一